

地球市民プロジェクト

～みらいを変えるきっかけを～



No.11 SDGs

カードゲーム★

10月4日（火） 教員対象の「SDGs de 地方創生」カードゲームを実施しました。

このカードゲームは本来であれば、有料で開催されるもので、開催する側も「ファシリテーター」という資格が必要なのですが、本校は山田と黒土先生が昨年資格を取得しました♪

今回はファシリテーター黒土先生、サポーター事務局山田で行いました。

まずは、黒土先生から「SDGsとは?」「このゲームでの“めあて”は?」「和歌山が目指す未来は?」などについてお話をしていただき、カードゲームのルールを説明してもらいました。



和歌山県長期総合計画にある、

和歌山が「めざす将来像」について確認！

ルール説明が終わると、先生方は各々のミッションをクリアすべく、すぐに動き出しました。

通常の体験会だと、なかなか動き出すのが遅いのですが、さすが先生方です！チームワークの良さに驚きました！

次々に「プロジェクト」を達成すべく、事務局に走ってきてくれました！



行政役の先生方も非常に友好的で「予算必要な人はいますか〜?」「このカード貸しましょうか?」とすぐに協力してくれ、とても和気あいあいとゲームが進みました!



このゲームはある町を想定して住民と行政が12年間過ごすというものです。3年間を12分に凝縮し、人口や経済、環境、暮らしなどについてのバロメーターをあげていくゲームです。

これまで参加したゲーム体験会では、必ず人口が減少し、今の日本を象徴する結果になっていましたが、箕島高校教員チームはなんと、すべてのバロメーターが想像以上に上がり、12年後、非常に良い町になっていました。



ゲームを終えて、黒土先生から「振り返り」の時間です。まずはペアで今日のゲームを通してどんなことを実感したか話し合ってもらい、発表してもらいました。

「自分のミッションだけでなく、周りに声をかけることで良い町にできた」「行政はお金を有効に使ったことで、人資源をもらえた」「まずは声をかけることで、協力しあえた」など前向きな意見がたくさん出ました。先生方が日頃から実践されている「対話」が非常に大切だと、改めて実感した体験会でした。

今回の経験を授業の中でどう活かすか、今後の探究の授業をどう展開していくかについても話をしました。本校が昨年からは実施している「地球市民プロジェクト」で取り扱っているSDGsについて、先生方で学ぶ良い機会になりました。ファシリテーター黒土先生、ご参加くださった先生方ありがとうございました♪

